

令和5年度 現代文Bシラバス

沖縄県立球陽高等学校

教科	科目	学年	学科	単位数	使用教科書等
国語	現代文B	3年	理数科	2単位	筑摩書房『精選現代文』

1 到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。</p> <p>2. 近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>3. 進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。</p>
---------	---

2 評価の観点および内容

評価の観点	評価の内容	略
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	関
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	話
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	書
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	読
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	知

3 学習計画及び評価方法等

月	単元名	単元の目標	学習内容 (教材)	配当時間	学習活動	評価基準・評価方法	定期 考査
						関=関心・意欲・態度 話=話す・聞く能力 書=書く能力 読=読む能力 知=知識・理解	
4	二部 評論三	一見して日常的なことばを媒介に深く考えを展開する評論や随筆を読むことを通して、身近な物事やことばの広がりや気づき、豊かな内面を形成する糧とする。 美学・古典文学論・文学論など幅広い分野の評論文を読む。	1 小説とは何か	8	①「遠野物語」を例題とした筆者の主張を理解する。 ②表現上の特色について、それが筆者の主張をどのように補強しているかを学ぶ。 ③言葉の性質と機能について理解する。	関 三島由紀夫や、教材の内容に関心を持っているか。 (授業時の反応) 話 朗読を通して、文章の展開や要旨を的確にとらえているか。(発問・授業時の反応) 書 内容の要約や、自分なりのまとめを行うことができるか。(ノート・プリント) 読 「遠野物語」の説話を素材に、小説という言語芸術を可能とする言語の性質を主題とする作品の読みを深めたり、人間や社会・文化について自分なりに考えたりすることができるか。(プリント・発問) 知 特に筆者独特の表現と思われる箇所を抜き出し、その意味を確認するとともに、その表現効果について理解することができるか/三島由紀夫とその作品に関して理解しているか。(発問・課題提出)	一学期 中間

6	二部 小説一	近代文学の始まりに位置する作品を読むことを通して、近代という時代と人間の格闘の歴史や状況について考え、現代と引き比べることで人間・社会に対するものの見方・考え方を新たにする。	1 舞姫	8	<p>①本文を黙読し、また音読し、語句の意味を確認するとともに、文体や表現上の特徴を理解する。</p> <p>②『舞姫』という作品全体を通して、近代という時代や、人間の生き方について知識を広げ、考えを深める。</p> <p>③視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察し、自らの表現に役立てる。</p>	<p>関 森鷗外や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉</p> <p>話 人物の心情や情景を把握して朗読することができるか。〈発問・授業時の活動〉／朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができるか。〈発問・授業時の活動〉／視点や立場を変えて『舞姫』の物語や場面を簡単にリライトしてみたり、それを相互に発表し合って感想を述べ合ったりすることができるか。〈課題発表・授業時の反応〉</p> <p>書 『舞姫』に関する論考（前田愛『ベルリン 1888——「舞姫」』（『都市空間の中の文学』））などを参考に、近代という時代や人間の生き方について知識を深め、自らに引き寄せて考察しまとめることができるか。〈プリント・発問〉</p> <p>読 作品を通読して全体を味わうとともに、個々の情景を的確にとらえ、表現を味わうことができているか。〈発問・授業時の反応〉</p> <p>知 難解な語句にとらわれすぎることなく、文体のリズムを掴み、文語体の表現に親しむことができるか。〈授業時の反応・プリント〉／森鷗外とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉</p>	一学期期末
9	二部 小説三	かたや幻想小説、かたや日本と東アジアの歴史のありようを描く小説という対照的な二編を読み、小説の多様さ、豊かさを学ぶとともに、日本文学と世界文学の交流について関心を深める。	1 砂の本	8	<p>①幻想的で不思議な設定の小説から、語りの技法や小説の魅力を味わう。</p> <p>②海外文学・翻訳文学に興味関心をもち、国文学と海外文学を比較したり、複数の訳者による同一作品の翻訳を読んだりして、文学への理解を深める。</p>	<p>関 翻訳文学や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉</p> <p>話 人物の心情や情景を把握して朗読することができるか。〈発問・授業時の活動〉／朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができるか。〈発問・授業時の活動〉／この小説の設定や魅力について、自分の感想をもち、話し合うことができるか。〈発問・授業時の活動〉</p> <p>書 「砂の本」の象徴的な意味を二百字程度にまとめることができるか。〈プリント・ノートへの記入〉／ボルヘスの他の作品を読んで四百字程度の感想文にまとめることができるか。〈課題提出〉</p> <p>読 「砂の本」に対する「わたし」の心情の変化をまとめることができるか。〈発問・定期考査〉／なぜ「わたし」は「砂の本」を「怪物」と感じ、自分から遠ざけたのか、考察することができるか。〈発問・定期考査〉</p> <p>知 全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉</p>	二学期中間
10月初旬以降はセンター演習を行う。「<共通テスト+センター試験>国語過去問題 平成30～令和3年+プレテスト 総合版」『<改訂版>共通テスト対策国語完答32』を使用。							